学校番号	1009

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ⅱ演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	ベーシックスタイル数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B・C（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・1年次、2年次に学んだことをより深めていくためにも、改めて定義を正しく理解しましょう。数学は正しい論理の積み重ねです。
・演習が中心になりますが、問題を解くことに重きをおくのではなく、なぜという本質をしっかり理解しながら進めていくようにしましょう。
・「何を理解して何を理解できていないか」を確認しながら学習しましょう。また、１つのことを学んだ後、それを振り返って考えるようにしましょう。

2　学習の到達目標

・　基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し，事象を数学的に解釈することで，表現・処理する技能を身につける。
・　適切な手法を選択して分析を行い，問題解決を行う。その過程や結果を考察し判断する力を養う。
・　数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	式と証明・複素数と方程式・図形と方程式・三角関数・指数関数と対数関数・微分法・積分法・数列・統計的な推測の概念，原理・法則などを体系的に理解し，基礎的な知識を身に付ける。また、応用レベルの問題を、例題を参照しながら解けるようになる。	［思考］ 問題解決の構想から結論に至るプロセスを主体的に考えることができる。 ［判断］ 複数の選択肢の中から正解を選ぶことができる。適切な答えを素早く導くことができる。 ［表現］ 証明をきちんと記述することができる。数式やグラフを用いて説明することができる。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性のを養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	式と証明・複素数と方程式	・二項定理 ・等式・不等式の証明 ・解と係数の関係 ・因数定理	a:基本的な問題が解ける b:工夫して問題を解決している c:難易度の高い問題や入試問題などについて主体的に取り組んでいる	定期考査	定期考査	・課題 ・パフォーマンス課題
	図形と方程式・三角関数・指数関数と対数関数	・円と直線 ・軌跡と方程式 ・不等式の表す領域 ・加法定理 ・指数関数 ・対数関数	a:基本的な問題が解ける b:工夫して問題を解決している c: 難易度の高い問題や入試問題などについて主体的に取り組んでいる	定期考査	定期考査	・課題 ・パフォーマンス課題
2学期	微分法・積分法	・微分係数と導関数 ・関数のグラフと方程式・不等式 ・不定積分 ・定積分	a:基本的な問題が解ける b:工夫して問題を解決している c: 難易度の高い問題や入試問題などについて主体的に取り組んでいる	定期考査	定期考査	・課題 ・パフォーマンス課題
	数列・統計的な推測	・等差数列・等比数列 ・種々の数列 ・漸化式 ・数学的帰納法 ・確率分布・二項分布 ・正規分布 ・母集団と標本	a:基本的な問題が解ける b:工夫して問題を解決している c: 難易度の高い問題や入試問題などについて主体的に取り組んでいる	定期考査	定期考査	・課題 ・パフォーマンス課題
3学期	総合演習	・数学Ⅱの内容 ・数学Bの内容	a:基本的な問題が解ける b:工夫して問題を解決している c: 難易度の高い問題や入試問題などについて主体的に取り組んでいる	定期考査	定期考査	・課題 ・パフォーマンス課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度